



何気ないものが移住者目線では魅力的なもの！？ アート作品「長岡百景」を東中学校に展示！

長岡市は、長岡の魅力の発信や関係人口の創出に力を入れ、人口減少の緩和に向けた移住・定住の推進に取り組んでいます。

長岡市立東中学校では総合学習の一環として、奈良県からの移住者が制作したアート作品「長岡百景」を展示しています。日常の何気ないものが移住者にとっては「魅力あるもの」であることを表現したアート作品にふれ、生徒が長岡の魅力や発信方法について考えるきっかけ作りとします。

つきましては、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ取材くださいますようお願いいたします。

アート作品「長岡百景」

1 作品名 長岡百景

市内の何気ないものを撮影し、違う文化圏から来た移住者としての気づきをコメントし、まとめたもの。

写真は全部で100枚、展示方法は作者が市民の自由な洗濯物の干し方に驚き、それをモチーフにしています。

2 制作者 松元 那々子さん

奈良県生まれ、奈良県育ち。

2019年に結婚後、半年で長岡市に移住。フォトグラファーで、文化も天気も違う長岡の暮らしに早く溶け込めるように、散歩と観察を重ねて制作したものが「長岡百景」です。

3 展示場所 長岡市立東中学校2階ホール

4 展示期間 7月10日（水）午後4時まで

5 その他 7月10日（水）午後2時から東中学校1学年生徒107人が総合学習の授業で、作品の感想を発表しながら長岡の魅力や情報発信について考えます。



問い合わせ

【作品について】 広報・魅力発信課 佐藤 TEL 0258-39-5151

【展示及び授業について】 東中学校 落合 TEL 0258-32-2131